

効率的に 公共施設を運用します

前回は利用者の多い施設の運営状況をお知らせしました。今回は、利用者1人当たりの公費負担額の高い施設を例に挙げ、その利用状況や経費、使用料収入の観点から、施設の運営状況を紹介し

ます。前回紹介した施設は、利用者が多いため使用料収入が相当額あり、利用者1人当たりの公費負担額（税金で賄う経費）は、基本的に問題とならない水準にあると言えます。しかし、今回紹介する施設は

下表から読みとれるように、①利用者数が少ない
②利用者直接負担額（使用料）に対して、ランニングコスト（管理経費）が大きい
などを原因とする運営上の問題が考えられます。このように、公共施設の運営状況を分析する場合、利用状況や収支状況を見無視することはできません。ただし、施設の必要性、重要性などを評価する場合、これらの指標だけで検討を行うことはできません。

前回は、利用者が多く、利用料収入が相当額あり、利用者1人当たりの公費負担額（税金で賄う経費）は、基本的に問題とならない水準にあると

農業関連施設も見受けられます。これらの施設については、利用者1人当たりの公費負担額という指標のみで評価を行うことは困難です。というのも、それぞれの施設の性質により、その目的や効果が異なるからです。

したがって、利用状況や収支からの分析のほか、次のような視点での施設評価を検討しています。

- ▼施設の設置目的の再確認
- ▼施設の現在・将来の需要の確認
- ▼老朽・修繕などの確認
- ▼施設利用者の分布範囲からの検討

■利用状況およびランニングコスト（平成12～16年度の平均）

施設名	年間利用者数	施設のランニングコスト (管理経費) (a)	利用者直接負担額 (使用料) (b)	利用者負担率 (b)/(a)	利用者1人当たりの 公費負担額	職員数
気高町 ロッジ 緑の郷	917人	1,201千円	83千円	6.91%	1,219円	—
福部町 歴史資料館	1,212人	1,822千円	107千円	5.87%	1,415円	—
気高リサイクル・ドリームハウス	2,346人	3,705千円	250千円	6.74%	1,473円	1人
佐治町 民俗資料館	702人	1,166千円	46千円	3.91%	1,596円	—
用瀬町 運動公園	11,511人	26,516千円	1,699千円	6.41%	2,156円	2人
佐治町 農産物加工センター	584人	1,759千円	626千円	35.59%	1,940円	1人
用瀬町 郷土歴史館	50人	142千円	—	—	2,840円	—
佐治町 和紙民芸館	50人	223千円	—	—	4,456円	—
青谷町 いかり原牧場	117人	708千円	—	—	6,071円	—
鹿野農業バイオセンター	63人	2,256千円	975千円	43.23%	20,330円	—

※各施設に係る経費と収入から、利用者の負担率、利用者1人当たりの公費（税金）の負担額をまとめたものです。

問い合わせ先

市役所本庁舎財産管理課

☎(0857)20-3112